

プログラムの目的

学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的とする。

対象学生

▶ 全学部学科の学生

修了要件

同朋大学で開講される「情報社会」、名古屋音楽大学で開講される「数理・データサイエンス・AI入門」を修得した学生に対し、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の修了者とする。

プログラムの改善・進化、 自己点検・評価を行う組織

▶ 教学マネジメント委員会

学修成果（身に付けることができる能力）

- ▶ 数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、データを適切に解読・利用するための基礎的な数理的思考を身に付けることができる。
- ▶ 事例やグループディスカッションを通してデータの利活用について人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思でAI等の恩恵を享受し、説明し、活用できる。
- ▶ 情報端末やインターネットの存在が社会に及ぼす影響について考察し、インターネット上の様々な情報に対する倫理観の重要性について認識することができる。

◆プログラムを改善・進化させるための体制

